

# 災害支援BCPプロジェクト 能登半島地震への支援

2024年3月に石川県にて、JMAT(Japan Medical Association Team)として災害支援を行いました。  
JMATは、医師や看護師などで構成されるチームで、被災地医療を中期的に支えながら、「災害関連死」を減らす役割を担います。

現地では、避難所生活を送る人たちの診察を行ったり、災害処方箋の発行や入院が必要な方などへの適切な治療生活を送るための支援を行いました。

石川県の現状は、道路が陥没・分断していたり、液状化による土壌の著しい隆起が起きているようなまだまだ危険な状況が続いていましたが、少しでも医療的な面や精神的な面でのケアに繋がるよう精一杯活動させていただきました。

